

令和2年度 湖西市地域公共交通会議決算

(歳入)

(単位：円)

科	目	予算額	収入済額	説	明
1 款	負担金	10,000,000	24,960,000		
	1 項 負担金	10,000,000	24,960,000		
	1 目 負担金	10,000,000	24,960,000	湖西市負担金10,000千円、新MaaS事業負担金14,960千円	
2 款	補助金	0	0		
	1 項 補助金	0	0		
	1 目 補助金	0	0		
3 款	繰越金	0	0		
	1 項 繰越金	0	0		
	1 目 繰越金	0	0		
4 款	諸収入	1,000	60		
	1 項 諸収入	1,000	60		
	1 目 雑入	1,000	60	預金利子 (8月分17円、2月分43円)	
歳 入 合 計		10,001,000	24,960,060		

(歳出)

(単位：円)

科	目	予算額	支出済額	説	明
1 款	運営費	1,000	42,240		
	1 項 事務費	1,000	42,240		
	1 目 事務費	1,000	42,240	消耗品費 等	
2 款	事業費	10,000,000	14,918,503		
	1 項 事業費	10,000,000	14,918,503		
	1 目 事業費	10,000,000	14,918,503	Monet7,700千円、豊橋技科大6,710千円 等	
3 款	予備費	0	9,999,317		
	1 項 予備費	0	9,999,317		
	1 目 予備費	0	9,999,317	事業費確定に伴う湖西市への戻入	
歳 出 合 計		10,001,000	24,960,060		

歳入合計 24,960,060 円
 歳出合計 24,960,060 円
 差引残高 0 円

上記のとおり、決算報告いたします。


令和 3 年 4 月 20 日


湖西市地域公共交通会議

会長 山家 裕史 

令和2年度湖西市地域公共交通会議決算について監査を行った結果、その内容は適正と確認しました。

令和 3 年 4 月 20 日

監事 湖西市社会福祉協議会 
 会長 佐藤 幸夫

監事 湖西市自治会連合会 
 会長 板倉 福男

令和2年度 湖西市地域公共交通会議 通帳写し

日	記号	お支払の金額	お預けの金額	お引当金	残高
1	29-04-06				
2	29-04-20 FF	旧帳より			
3	29-04-26 BA	¥3,424,252	¥3,200,000	¥224,252	
4	29-07-28 FF	湖西市会計管	¥7,489,000	¥0	
5	29-09-19 AF	利息	¥7,489,011	¥11	
6	30-02-17 AF	利息	¥7,489,043	¥32	
7	30-03-23 BF	¥5,907,600			
8	30-04-20 FF	湖西市会計管	¥1,788,000	¥3,369,443	
9	30-04-24 BA	¥3,369,443	¥5,551,000	¥0	
10	30-07-20 FF	湖西市会計管	¥5,551,000	¥0	
11	30-09-18 AF	利息	¥5,551,011	¥11	
12	31-02-15 AF	利息	¥5,551,034	¥23	
13	31-04-02 BF	¥4,968,000			
14	31-04-19 FF	湖西市会計管	¥1,387,000	¥583,034	
15	31-04-23 BA	¥1,970,034	¥5,126,000	¥0	
16	1-07-30 FF	湖西市会計管	¥5,126,008	¥8	
17	1-08-17 AF	利息	¥5,126,030	¥22	
18	2-02-15 AF	利息	¥4,609,000	¥517,030	
19	2-04-08 BF	¥517,030			
20	2-04-10 BA		¥10,000,000	¥0	
21	2-08-30 FF	湖西市会計管	¥10,000,000	¥17	
22	2-09-15 AF	利息	¥9,999,577	¥43	
23	2-11-12 BA	¥440			
24	2-11-12 BA	¥4,114			

日	記号	お支払の金額	お預けの金額	お引当金	残高
1	2-11-12 BA	¥1,650			
2	2-11-12 BA	¥3,880			
3	2-11-12 BA	¥1,430			
4	2-11-12 BA	¥984			
5	2-11-12 BA	¥3,880			
6	2-11-12 BA	¥88,660			
7	2-11-13 BA	¥440			
8	2-11-13 BA	¥17,810			
9	2-11-27 BA	¥100,100			
10	2-11-27 BA	¥63,360			
11	2-11-27 BA	¥140,800			
12	2-11-27 BA	¥660			
13	2-11-27 BA	¥75,075			
14	2-11-27 BA	¥660			
15	2-11-27 BA	¥220			
16	03-01-08 BA	¥5,000			
17	03-01-08 BA	¥440			
18	03-02-20 AF	利息			
19	03-03-31 FF	¥2,727,977			
20	03-04-06 BF	¥7,700,880			
21	03-04-06 BF	¥6,710,440			
22	03-04-12 BA	¥59,820			
23	03-04-13 BA	¥9,999,317			
24	03-04-13 AA	¥9,999,316			

日	記号	お支払の金額	お預けの金額	お引当金	残高
1	03-04-14 BA	¥9,999,317			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

湖西市地域公共交通会議 令和2年度通帳写し



事務取扱部長 北見 隆一

令和3年度 湖西市地域公共交通会議予算書(案)

(歳入)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	説 明
1款 負担金	13,025	
1項 負担金	13,025	
1目 負担金	13,025	(市)地域公共交通会議MaaS事業負担金
2款 補助金	302	
1項 補助金	302	
1目 補助金	302	(国)地域公共交通確保維持改善事業費補助金 内示額
3款 繰越金	0	
1項 繰越金	0	
1目 繰越金	0	
4款 諸収入	2	
1項 諸収入	2	
1目 雑入	2	預金利子
歳 入 合 計	13,329	

(歳出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	説 明
1款 運営費	1	
1項 事務費	1	
1目 事務費	1	振込手数料
2款 事業費	10,638	
1項 事業費	10,638	
1目 事業費	10,638	湖西市チャトルBaaS事業導入効果検証及び実証実験(別紙) 湖西市地域公共交通計画策定費(別紙)
3款 予備費	2,690	
1項 予備費	2,690	
1目 予備費	2,690	国費内示額に伴う事業調整費、事業費確定後は湖西市へ戻入
歳 出 合 計	13,329	

なお、科目間の流用は認めるものとする。

令和 3 年 4 月 28 日

(件名)

令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金について

(産業部産業振興課)

1 要旨

令和 3 年度末に 5 年の計画期間が満了する湖西市地域公共交通網形成計画の次期計画として「湖西市地域公共交通計画（仮称）」を令和 3 年度に策定予定である。この計画策定においては、国庫補助を受けるよう下記の事業内容で国へ申請手続きを進める。

2 計画推進事業の内容

実施項目	実施内容
湖西市地域公共交通計画（案）のとりまとめ	<p>令和 2 年度に実施した現況調査及び住民ニーズ把握調査などの結果をもとに、持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理し、上位計画や関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめる。</p> <p>また、基本方針に沿って、持続可能な公共交通の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめることとする。</p>

3 年度スケジュール

実施項目	4 月	9 月	12 月	3 月
湖西市地域公共交通計画（案）のとりまとめ			←————→	

4 計画推進事業の実施経費と国庫補助額、地域公共交通会議負担額

実施項目	総事業費 (見込み)	補助対象経費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
湖西市地域公共交通計画(案) のとりまとめ	638 千円	638 千円	302 千円	336 千円
合計	638 千円	638 千円	302 千円	336 千円

令和 3 年 4 月 28 日

(件名) 湖西市における公共交通の将来像について

(産業部産業振興課)

1 要旨

令和 3 年度末に 5 年の計画期間が満了する湖西市地域公共交通網形成計画の次期計画である湖西市地域公共交通計画（仮称）を令和 3 年度に策定予定である。

策定にあたり、湖西市の公共交通の将来像の考え方について事前に意見を伺う。

2 地域公共交通計画の位置づけと総合計画における施策の方針について

令和 2 年度に策定された市の最上位計画である第 6 次湖西市総合計画の中で「公共交通」は、4 つの基本構想の 1 つである「安心して暮らすことができるまち」の重点施策であり、地域公共交通計画は、総合計画における公共交通分野の個別計画に位置づけられる。

施策の方針 ※第 6 次湖西市総合計画より一部抜粋

コーちゃんバスの現行の運行体制を大きく見直し、デマンド型乗合タクシーの運行区域を市全域へ拡大し、ニーズに応じたきめ細かな公共交通サービスを提供することで利便性と持続可能性の両立を目指します。

また、自動運転社会を見据え、官民連携による新たなモビリティサービスの提供を目指します。

3 コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの将来像に向けた考え方

市民の利用ニーズの増加、多様化が予想される中で持続可能な公共交通、ニーズに応じたきめ細かなサービス提供を実施していくためには、コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの利点と欠点を意識した見直しを行う必要がある。については、以下の考え方を基に将来像の検討を行う。

No.	考え方	
	コーちゃんバス	デマンド型乗合タクシー
1	都市拠点と地域拠点を結ぶ公共交通軸の維持	市内全域へのエリア拡大
2	需要（実績）が多い路線の維持	現行のサービス水準の維持

4 計画策定の今後のスケジュール（案）について

令和 3 年 6 月 公共交通の現状、基本方針等について討議

令和 3 年 9 月 評価指標と個別事業等について討議

令和 3 年 12 月 全体を通して討議

令和 4 年 1 月 パブリックコメント

令和 4 年 3 月 地域公共交通計画協議

デマンド型乗合タクシーの運行区域の拡大について

1 運行区域の拡大に対する基本的な考え方

基本的な考え方としては、①市内全域への運行エリアの拡大、②現行のサービス水準の維持の2点を基に将来像を検討する。具体的には、エリアを市内全域に拡大した場合にかかる経費や実績を基にしたタクシーの稼働台数を試算し、どの範囲までの拡大であれば実現可能であるかを検討する。

(1) 市内全域化した場合の経費やタクシー稼働台数について

現状との比較	経費予測	利用可能人数	タクシー稼働台数
現状	6,400 千円	12,375 人	2 台
市内全域化	41,000 千円	59,057 人	14 台

※タクシー稼働台数は、利用可能人数より推計した台数

※現状のタクシー稼働台数は R3.4 開始の新居地区は含まない。

(2) 市内全域に拡大した場合の問題点、課題

- ・運行事業者である遠鉄タクシーがデマンド型乗合タクシーに回せる車両数の上限は現状 8 台である。全国的な課題である運転手不足を考慮するとこれ以上の増加は見込めないとのことである。

8 台で 14 台が必要な市内全域化を実施することで以下の不具合が生じる可能性が高い。

- ① タクシーが不足することで予約を断る可能性が高くなる。
- ② ①を未然に防止するため、運行方法の制限をかける必要が出てくる。

例：月、水、金は〇〇地区 火、木は〇〇地区など

2 運行事業者との協議に基づく拡大範囲について

1 を基にどの範囲までの拡大であれば、現状のサービス水準を下げることなく運行が可能であるか協議を行った結果、以下の範囲までの拡大が望ましいと考える。

現状との比較	経費予測	利用可能人数	タクシー稼働台数
現状	6,400 千円	12,375 人	2 台
全域化（一部除く） ※参考資料 1	25,000 千円	36,035 人	8 台
市内全域化	41,000 千円	59,057 人	14 台

※タクシー稼働台数は、利用可能人数より推計した台数

※現状のタクシー稼働台数は R3.4 開始の新居地区は含まない。

将来像におけるデマンド拡大エリアは、全域化（JR 駅周辺の市街地を除く）が望ましいと考える。

将来像におけるコーちゃんバスの路線数について

1 将来像の路線数を検討する基本的な考え方について

基本的な考え方としては、①都市拠点と地域拠点を結ぶ公共交通軸の維持、②需要（実績）が多い路線の維持の2点を基に将来像を検討する。具体的には、直近の利用実績を基に各路線のバス停通過人数を算出し、バスの利点の1つである大量輸送等を考慮し検討する。

2 需要（利用実績）に基づく検討について

各路線毎の利用実績（令和2年10月～令和3年2月）

No.	路線名	利用者数	バス停通過人数 ※1
1	白須賀新居鷲津線	4,885人	11.32人/便
2	岡崎鷲津線	3,810人	6.87人/便
3	白須賀鷲津線	5,126人	9.35人/便
4	知波田入出線	7,719人	14.16人/便
5	白須賀岡崎線	※2 2,980人	15.55人/便
6	岡崎循環線	1,031人	1.23人/便
7	鷲津循環線	1,958人	2.62人/便

※1 バス停通過時における乗車人数が最も多いバス停の5か月平均値

※2 利用者数のうち2,336人は白須賀小学校の登校、下校利用（朝、夕のみ）

※3 5 白須賀岡崎線、6 岡崎循環線は1台の車両で運行

3 将来像における路線数について

No.	路線名	分類
1	白須賀新居鷲津線	①都市拠点と地域拠点を結ぶ公共交通軸
2	岡崎鷲津線	
都市拠点である鷲津地区と地域拠点である新所原地区、新居地区を結ぶ路線であり、実績や都市計画マスタープランを考慮し、経路を精査して残す必要がある。		
3	白須賀鷲津線	②需要（最大乗車人数）が多い路線
4	知波田入出線	
5	白須賀岡崎線	
最大乗車人数が大きくバスの利点を活かせる経路であるため、経路やダイヤを精査して残す必要がある。白須賀岡崎線は特定ダイヤのみ需要が大きいため、白須賀鷲津線車両との兼用を検討する必要がある。		
6	岡崎循環線	●需要（最大乗車人数）が少ない路線
7	鷲津循環線	
最大乗車人数が少なく、過大な経費がかかる点、デマンド型乗合タクシー等による代替等が可能な点、鷲津地区においてはその他路線が乗り入れすることで鷲津循環線の代替機能が見込める点により廃止が望ましい。		

将来像におけるコーちゃんバスの路線数は、4台5路線が望ましいと考える。

遠鉄バス浜名線退出に伴うコーちゃんバスの対応について

1 要旨

浜名線退出に伴う影響を最小限とするために、地域公共交通計画で描く将来像を基にしたコーちゃんバスの一部の路線の令和3年10月改正について事前に意見を伺いたい。

2 改正の内容について

令和3年10月改正を目指し、令和2年度より討議を行っていただいていた「白須賀新居鷲津線」について以下のとおり見直し案を作成

(1) 長大な路線の見直し【令和2年度の討議事項】

白須賀地区から新居地区を経由し鷲津地区まで運行する片道1時間超の長大な路線をデマンド導入地区である白須賀地区の一部を残して圧縮し、新居地区の循環機能を強化することで利便性の向上を図る。

(2) 運行経路の変更【今回追加した事項】

将来像においては、デマンド地区拡大に伴い現在の経路を見直し湖西市の主要な道路である国道301号の経路を運行する方が需要に対してより効果的であると考える。これより、令和3年10月より国道301号を運行する経路を設ける。

3 2(2)追加に伴う課題について

【午前7時台、8時台でのダイヤ設定について】

浜名線の浜松行き第1便(6:49市役所発)は1日30人以上の需要がある。また、午前8時前後に鷲津地区(行き先は主に鷲津駅、湖西病院)に向かう便はどの路線でも他の時間帯と比較し需要の大きい便であるため、同時時間帯にダイヤを設けることが望ましい。

⇒現状の白須賀新居鷲津線は大倉戸付近や新居弁天付近の小学生の朝の通学便を運行しており多くの利用者がいるため、これを実現するためには、他路線の車両を利用した運行の検討が必要となる。

4 3の課題に対する事務局(案)について(参考資料3、4)

(1) 7:13に鷲津駅着の知波田入出線車両(資料1A付近車両)を新設経路へ
⇒【影響】その後知波田入出線車両で運行する需要が大きい知波田入出線湖西病院行き第3便に間に合わない。

(資料1B→C→Aの経路 ※知波田駅から鷲津駅間の経路のみ)

(2) (1)の影響を考慮し同時時間帯に第3便の経路を運行可能な知波田入出線通学・浜名病院行き第1便(資料1B→Dの経路)と利用者実績を比較
⇒C区間とD区間の利用者実績を比較したところC区間の方がより需要が大きいため、B→Dの経路からB→C→Aの経路に変更し運行する方が望ましい。